

秩父市備蓄計画

平成25年 3月

秩 父 市

目 次

1. はじめに	1
2. 策定方針	2
(1) 備蓄物資給与対象者	2
(2) 備蓄品目	2
(3) 備蓄目標	4
3. 物資の整備・調達について	6
(1) 物資の整備について	6
(2) 物資の調達について	6
4. 家庭内及び地域での備蓄の推進について	7
(1) 家庭内における備蓄	7
(2) 地域における備蓄	8
(3) 事業所等における備蓄	8
5. 備蓄倉庫の整備について	9

1. はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、マグニチュード9.0、最大震度7を記録し、当市においても震度5弱を観測しました。この地震及び地震によって発生した津波による死者は15,000人を超え、行方不明者を合わせると19,000人以上の方が犠牲となっています。また、福島第一原発事故の影響もあり、全国で約344,000の方が避難生活を余儀なくされました。

当市においては、幸いにして人的被害は発生しませんでした。屋根瓦や内外壁等の一部損壊等の被害が発生したほか、地震直後より発生した大規模停電によって市民生活に大きな影響を与えました。

平成19年度に実施した埼玉県地震被害想定調査によると、想定される5つの地震（東京湾北部地震、茨城県南部地震、立川断層帯、深谷断層、綾瀬川断層）のうち、当市に最も被害をもたらすとされる地震は「深谷断層による地震」とされており、当市における被害想定では、人的被害や建物等の被害もほとんど発生しないものとされています。

しかしながら、地震大国である日本において、大地震は「いつ・どこで」発生しても不思議ではなく、当市においても地震による被害発生は考えられます。

地震以外にも、近年の地球温暖化が原因と思われる集中豪雨や竜巻等の風水害は、全国各地で発生し、甚大な被害をもたらしております。

このような大規模災害が発生した直後の市民生活を確保するため、市では秩父市地域防災計画に基づき、食糧、物資等の備蓄や輸送に関する「秩父市備蓄計画」を策定することとしました。

なお、この計画の見直しは5年を目安に行いますが、新たな課題等が生じた場合は、その都度検討を加え修正するものとします。

2. 策定方針

大規模災害発生時においては、流通機能が停止し、外部からの救援物資が届きにくい状況となることが予想されるため、市民は平時より発災直後から必要とされる食料や生活必需品等について備えておく必要があります。

しかしながら、大規模災害発生時には多数の避難者や負傷者が予想されることから、市では自助・共助を基本としつつ、備蓄食料や生活用品、災害時応急対策に必要な資機材等について整備することとします。

(1) 備蓄物資給与対象者

秩父市地域防災計画に基づき、備蓄物資給与対象者は、避難者及び災害救助従事者とし、市全体人口の1割を目標に食糧及び物資等を備蓄することを基本としますが、備蓄倉庫の分散化を図るため旧市町村単位での人口の1割として算定することとします。

(H25.1.1 現在)

地 区	人 口	目標人口（端数切上げ）
秩父地区	55,854人	5,586人
吉田地区	5,270人	527人
大滝地区	955人	96人
荒川地区	5,638人	564人
合 計		6,773人

※備蓄物資給与対象者は6,773人と想定します。

(2) 備蓄品目

災害が発生してから救援物資等が到達するまでの間において、避難者にとって必要不可欠とされる食料及び生活必需品等を備蓄します。

①食料

食料については、保存期間が長く、かつ調理不要なものとし、避難者のニーズに対応するため、以下のものを備蓄します。

(ア) 乾パン

長期保管が可能であり、調理不要で栄養価もある乾パンを備蓄します。

(イ) アルファ化米 (各種)

長期保管が可能であり、比較的日常生活の主食に近く、品目や栄養価も豊富なことから、アルファ化米を備蓄します。

(ウ) アルファ化米 (おかゆ)

高齢者や幼児、アレルギー体質等の方への配慮として、アレルギー特定原材料等を含まず、摂取塩分が過多にならないよう、白粥を備蓄します。

(エ) 粉ミルク

乳幼児用として、粉ミルクを備蓄します。

②生活必需品

災害発生時から避難生活をするにあたって、当初から必要不可欠と考えられる次の物資を備蓄します。

毛布	生理用品
紙おむつ (大人)	紙おむつ (小人)
哺乳瓶 (乳幼児用)	トイレットペーパー
マット	タオル

③資機材

資機材の備蓄については、災害時における応急対応活動や避難所運営、救出救助に必要と考えられる資機材を次のとおり整備します。

発動発電機	投光器	携行缶
ブルーシート	シャベル	つるはし
バール	ノコギリ	ナタ
トランジスタメガホン	飲料水袋	ロープ
コードリール	折畳式リヤカー	その他必要と考えられるもの

④災害時用トイレ

大規模災害、特に震災時においては上下水道設備が機能しないことが想定されるため、通常使用しているトイレが使用できなくなることが見込まれます。そのため、簡易トイレを備蓄するほか、マンホールトイレ等の災害時用トイレの整備について検討を進めます。

(3) 備蓄目標

当市では、独自の地震被害想定調査を実施していないことから、災害発生時における備蓄物資給与対象者の想定を全人口の1割と想定しています。しかしながら、大規模災害発生時は想定を上回ることも考えられることから、想定する給与対象者は最低目標数値と考え、備蓄物資を整備します。

①食料

目標数量は秩父市地域防災計画において、3日分に相当する量を市・県・市民がそれぞれ備蓄することとしています。しかしながら、大規模災害時においては、物流機能が停止し、支援物資等が届きにくい状況が予想されることから、この計画においては、想定する給与対象者に対して、市及び県が確実に3日分相当（市：2日分、県：1日分）を給与できる体制を整備することとします。

(ア) 乾パン

対象者	5歳から69歳まで
人口割合	75.1%
目標数量	$6,773 \text{ 人} \times 75.1\% \times 4 \text{ 食分} \div 20,400 \text{ 食}$

(イ) アルファ化米

対象者	3歳から69歳
人口割合	①5歳から69歳までは、2食分とします。(人口割合75.1%) ②3歳、4歳は6食分とします。(うち3歳、4歳の割合1.6%)
目標数量	① $6,773 \text{ 人} \times 75.1\% \times 2 \text{ 食分} \div 10,200 \text{ 食}$ ② $6,773 \text{ 人} \times 1.6\% \times 6 \text{ 食分} \div 700 \text{ 食}$ 合計 <u>15,900 食</u>

(ウ) アルファ化米 (おかゆ)

対象者	1歳、2歳、70歳以上
人口割合	22.7%
目標数量	$6,773 \text{ 人} \times 22.7\% \times 9 \text{ 食分} \div 13,900 \text{ 食}$

(エ) 粉ミルク

対象者	0歳児、1歳児 (1回当たりの調乳量を30gとして1日5回(150g)を基準とします。)
人口割合	1.4%
目標数量	$6,773 \text{ 人} \times 1.4\% \times 150 \text{ g} / \text{日} \times 3 \text{ 日} \div 43 \text{ kg}$

②生活必需品

(ア) 毛布

対象者	備蓄物資給与対象者 6,778 人
目標数量	1 人当たり 2 枚として整備します。 6,773 人×2 枚 ≒ 13,600 枚

(イ) 紙おむつ

(乳幼児用)

対象者	0 歳から 3 歳
人口割合	2.1%
目標数量	1 人 1 日当たり 8 枚として 3 日分を整備します。 6,773 人×2.1%×8 枚×3 日 ≒ 3,500 枚

(大人用)

対象者	要介護度認定基準における要介護 3 以上の方
人口割合	1.7%
目標数量	1 人 1 日当たり 6 枚として 3 日分を整備します。 6,773 人×1.7%×6 枚×3 日 ≒ 2,100 枚

(ウ) 生理用品

対象者	10 歳から 55 歳の女性
人口割合	24.7%
目標数量	対象の 4 分の 1 (4 週に 1 回換算) に対して、一人 1 日当たり 6 枚として 3 日分を備蓄します。 6,773 人×24.7%÷4×6 枚×3 日 ≒ 7,600 枚

(エ) 哺乳瓶

対象者	0 歳
人口割合	0.8%
目標数量	1 人当たり 3 個を目安に整備します。 6,773 人×0.8%×3 個 ≒ 170 個

(オ) タオル

対象者	備蓄物資給与対象者 6,778 人
目標数量	1 人当たり 3 枚を目安に整備します。 6,773 人×3 枚 ≒ 20,400 枚

3. 物資の整備、調達について

物資の整備及び調達について、以下のとおり定めます。

①物資の整備について

(ア) 備蓄食料の整備

食料の備蓄にあつては、長期保管可能で調理不要なものを中心に、計画的に購入します。

賞味期限を迎えるものについては、期限内の有効活用として、自主防災・防犯組織による防災訓練や小中学校等における防災教育の一環としての活用することによって、市民の防災意識の高揚を図ります。

また、賞味期限が短いものや広い保管スペースが必要などの備蓄に適さない物資等については、流通在庫備蓄の検討を進めるほか、発災から時間の経過とともに必要とされる物資については、調達による確保に努めます。

(イ) 生活必需品・資機材等の整備

生活必需品や資機材等にあつては、市民が備蓄しにくいと思われるものを中心に整備します。

消費期限が短い、広い保管スペースが必要などの備蓄に適さない物資については、流通在庫備蓄の検討を進めるほか、発災から時間の経過とともに必要とされる物資については、調達による確保に努めます。

②物資の調達について

災害発生時から時間が経過するとともに、避難者のニーズに合わせた物資の確保が必要と考えられます。そのため、市では民間物流業者と災害時応援協定の締結を積極的に進め、地域の実情に応じた物資の調達体制の確保を図ります。

※物資の提供等に関する災害時応援協定締結先一覧（H25.2.1 現在）

提供物資	締結先
飲料水	三国コカ・コーラボトリング(株) ダイドードリンコ(株)、(株)新井商事
農作物、生鮮食料	ちちぶ農業協同組合
応急生活物資	ちちぶ農業協同組合 (株)カインズ

4. 家庭内及び地域での備蓄の推進について

災害発生初期においては、流通機能が停止する可能性が高く、市や県からの物資が届きにくい状況が考えられます。そのため、災害発生時における自助・共助の考え方を基本に、平時から災害発生時に必要な物資を各家庭や地域で備蓄しておくことが最も重要であり、市は市民や地域に対して備蓄意識の高揚を図るための普及啓発を推進することとします。

①家庭内における備蓄

(ア) 基本的な備蓄

特別な非常食に限らず、普段から購入しているものでも災害時には十分であるため、買い置きや冷蔵庫での貯蔵を含め、飲料水や食料など避難生活に必要な物資の3日分以上を備蓄するよう推進します。

※主な備蓄物資

○食料 アルファ米、乾パン、レトルト食品、缶詰、粉類（小麦粉やホットケーキミックス）、あめ、チョコレート、インスタントラーメン、調味料など
○物資 カセットコンロ、ガスボンベ、衣類、キッチン用ラップ、万能ナイフ、ライター、ビニール袋、生理用品、トイレットペーパー、常備薬、ラジオ、懐中電灯、鍋、割りばし、ローソク、洗面用具、保険証・免許証のコピーなど
○飲料水 大人1人あたり、1日3リットルが目安

(イ) 災害時要援護者等に対する備蓄

高齢者や乳幼児、障害者等の災害時要援護者や食物アレルギー等を持つ者に対する食料や生活必需品、医薬品等について、各々特別なものを行政側が確保することは困難なことから、その家族や介護者等が確保に努めるよう推進します。

※主な備蓄物資

○食料 粉ミルク、離乳食、アレルギーに配慮した食料（おかゆ等）など
○物資 哺乳瓶、洗浄綿、スプーン、オムツ、ティッシュ、母子手帳、障害者手帳、常備薬、補助具の予備、保険証のコピーなど

②地域における備蓄

自主防災・防犯組織を中心とした活動は、災害発生時における初動対応として必要不可欠であることから、初期消火、情報収集、避難誘導、救出・救護、炊き出し活動等、地域での防災活動が効果的に実施できるよう、地域の実情に合った資機材等の整備を推進します。

※主な備蓄物資

○資機材

炊き出し用品（大鍋、コンロ、食器類等）ロープ、シャベル、バール、ノコギリ、ナタ、誘導棒、トランジスタメガホン、リヤカーなど

③事業所等における備蓄

災害発生直後から各事業所においては、業務の継続及び迅速な復旧を図ることが求められるほか、発災直後の一斉帰宅を抑止するため、従業員を一定期間事業所内に留めておく必要が考えられます。そのため、従業員に対する食料や飲料水、生活必需品等について3日分程度の備蓄を推進します。

※主な備蓄物資

○物資

乾パン、アルファ化米、飲料水（大人1人当たり、1日3リットルが目安）
ラジオ、ヘルメット、タオル、懐中電灯など

5. 備蓄倉庫の整備について

現在、毛布やオムツ、飲料水袋、発動発電機、投光器等の物資や資機材のほとんどは、小中学校の空き教室等の一部を活用して分散配備していますが、食料に関しては、金室備蓄倉庫と各総合支所で集中的に配備しており、備蓄倉庫としての機能や役割が不明確な状況となっています。

そこで、市内の緊急輸送に適した場所、数か所に**備蓄拠点倉庫**を整備し、集中した食料や物資、資機材等の総合的な備蓄を行います。

また、各小中学校や避難施設の**避難拠点**は、初動対応に必要な資機材を備蓄するほか、給与対象者に対して、物資の配布を行う拠点として整備することで、それぞれの機能や役割を明確にします。

○備蓄拠点倉庫

避難状況に応じて各避難所への物資の補充を行うための倉庫で、食料や生活必需品、資機材等を総合的に備蓄します。

○避難拠点

各小中学校、避難所を中心に初動対応に必要な資機材を備蓄するほか、給与対象者へ物資を配布する拠点となる倉庫を言います。

